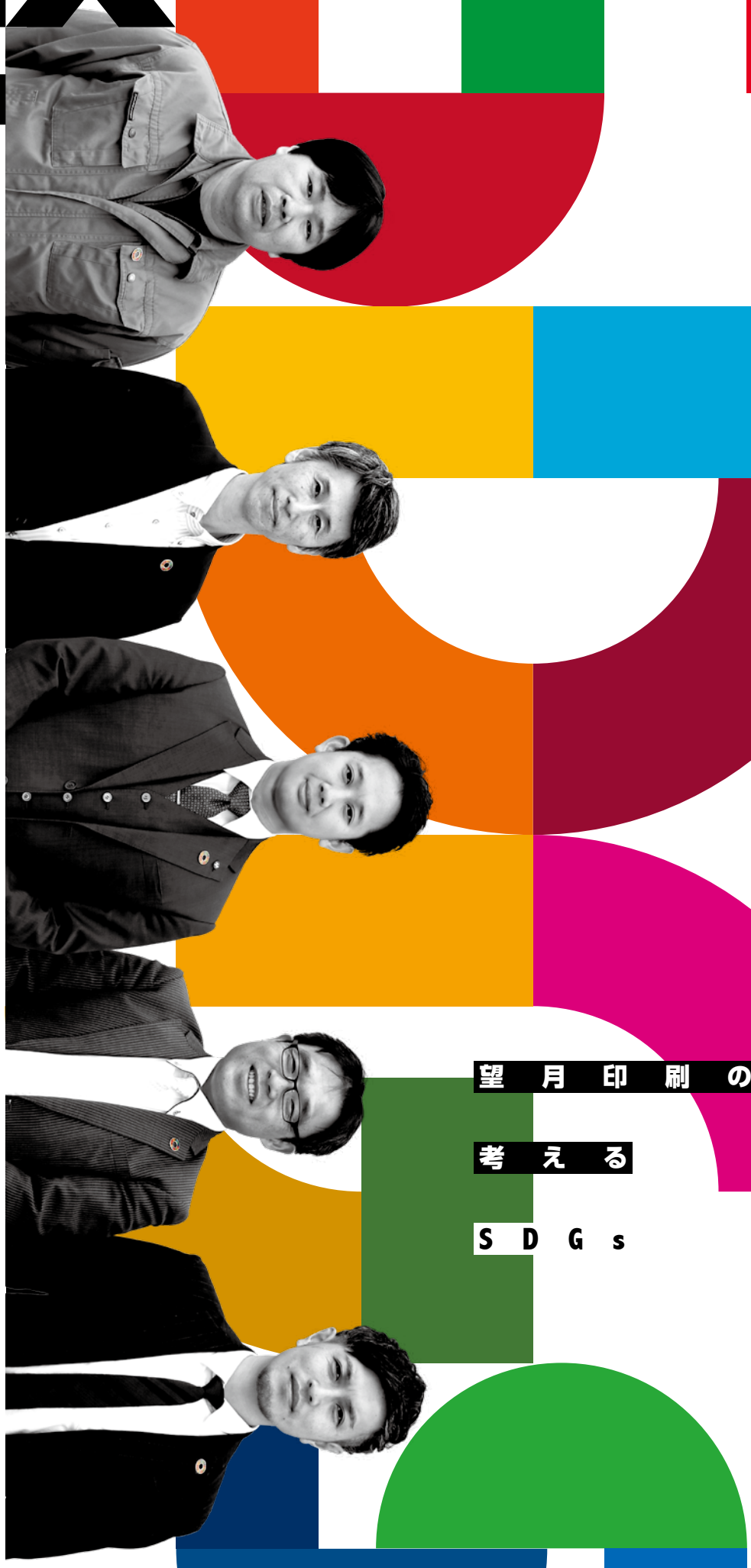
NEXT

SDGsで
その先の
ステージへ

MOCHIZUKI
SDGs news
vol.01



望月印刷の考えるSDGs

写真左から
伊藤博志(生産部 印刷課課長)、**白川元晴**(メディアコミュニケーション企画室 課長補佐)、**望月諭**(代表取締役社長)、**橋本英樹**(営業部 部長代理)、**古川由徳**(SDGs推進室課長)

Mochizuki

望月印刷 SDGs宣言

つくる、つなぐ、かなえる
Good Smile Media

望月印刷株式会社
代表取締役社長
望月 諭
MOCHIZUKI SATORU

持続可能な社会・地域を、お客様・地域社会・従業員と『共創』し、笑顔と豊かさをお届けする

私たち望月印刷株式会社は、企業理念『メディアコミュニケーションを通じて、お客様・地域社会・従業員に笑顔と豊かさを創造する』のもと、情報産業のメディア事業者として、地域の皆様と深く関わり、地域経済の発展、地域社会との共生を考え歩んでまいりました。2020年5月25日で創業70周年を迎えたことを機に、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を企業活動の重要な目標と捉え、4つの重点項目を中心とした「サステナビリティ方針」を策定。企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立させるため、従業員一丸となり、お客様、地域社会とともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

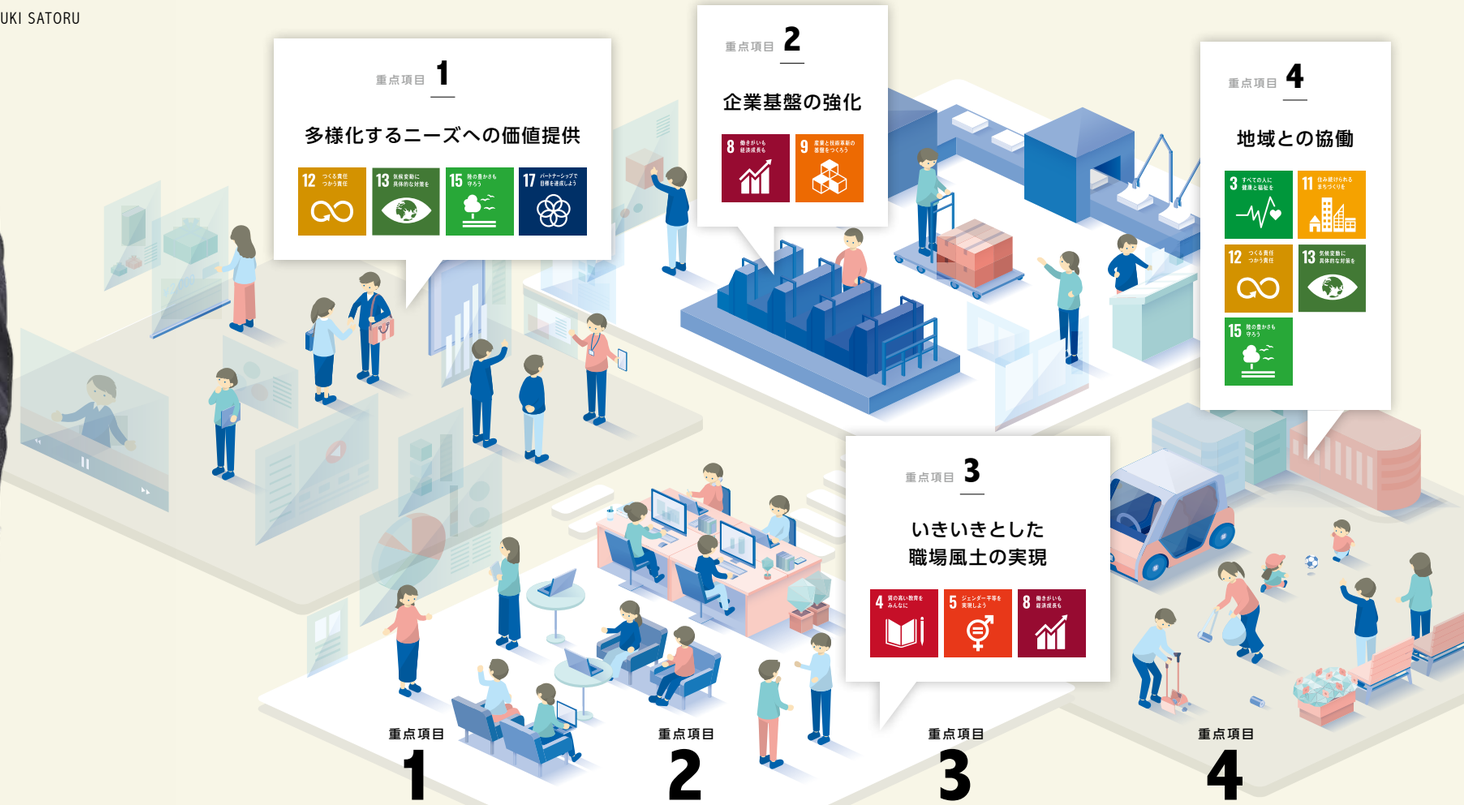
組織改革と委員会の発足で全社をあげてSDGsを推進

望月印刷では、2019年よりSDGs推進活動のけん引役として、全社を横断するSDGs推進委員会を発足。2020年にはSDGs推進室を設置し、SDGs経営体制の強化と加速化に力を入れています。

◀◀ CHECK
望月諭代表取締役社長による、
SDGs宣言動画をこちらからご視聴いただけます。

望月印刷の考えるSDGs（4つの重点項目）

望月印刷は、持続可能な経済成長と社会課題解決の両立を図るため、
4つの重要項目のもと、お客様・地域社会・従業員による
「**3つの共創**」でSDGsの目標達成を全社一丸となって推進しています。



重点項目 1
合言葉は“グッドスマイルメディア”

さまざまな情報の共有で、加速度的に多様化する現代社会。こうしたなか企業や個人のニーズに応えるため、従来の取り組みの水準向上を図り、メディアコミュニケーションを通じた課題解決をご提案します。

SDGs推進委員
メディアコミュニケーション企画室
課長補佐
桝本 欽章

■WEBサイト・映像制作
■女性企画チーム「La Bit」
■広域連携観光情報誌「motto」

重点項目 2
100年企業を見据えた企業基盤を

生産性や品質向上といった業務の効率化だけでなく、お客様満足度の向上と新たな価値創出のため、社内の設備や制度の見直しを継続して実施。地域に愛される100年企業を目指し、さらなる強化を図ります。

SDGs推進委員
メディアコミュニケーション企画室
室長
岩崎 俊雄

■設備・制度のデジタル化
■サプライチェーンとの共創
■社会課題解決型人材の育成

重点項目 3
働きがいのある魅力的な会社へ

従業員一人ひとりがその能力を十分に発揮できるよう、従業員の自立的な成長を促すための取り組みを実施。多様な人財が互いに認め合い高め合える、安全安心な職場環境・職場風土の整備を進めています。

SDGs推進委員
管理部
部長代理
橋本 健

■安全衛生委員会の設置
■ワークライフバランスの推進
■女性が活躍できる職場づくり

重点項目 4
人と地域社会と企業を絆でむすぶ

「環境保護」と「次世代育成」をテーマに、環境に配慮した印刷技術の推進や絆アベニューをプラットホームとした親子の絆づくりを展開。地域社会との共創による多彩な社会貢献活動に取り組んでいます。

SDGs推進委員
管理部
課長補佐
小澤 義一

■環境保護印刷
■絆アベニュープロジェクト
■夏休み親子工場見学会

SDGs TOPICS

VOL. 01

TOPIC

01 | さいたま市の飲食店支援のためマスクケースを制作・寄贈

コロナ禍で奮闘する市内飲食店の感染予防支援に役立てていただこうと、食事中に外したマスクを保管するための紙製マスクケース計1万枚を、さいたま市とさいたま市商店会連合会に寄贈。当社女性企画チーム「La Bit」が企画制作したオリジナルマスクケースは、市の花サクラソウをモチーフに10区の花の情報を盛り込み、地元の魅力再発見につながるよう「SAITAMASK花めぐり」と名付けました。

デザインは全4種。10区の花の見ごろや場所、花言葉などを掲載

感謝状授与の様子が埼玉新聞に掲載されました（9月25日付）

TOPIC

02 | 埼玉県が推奨する「男性育児休業等推進宣言企業」に登録

いきいきとした職場風土実現のため、男性社員も積極的に育児へ参加できるよう、2017年より男性社員の育児休業取得を推進し、これまでに5名の男性社員が育児休業を取得。本年10月には「男性育児休業等推進宣言」を行い、埼玉県ウーマノミクスサイトに登録掲載されました。

家庭や子育てと向き合えるのは職場全体の理解があってこそ

共働きの我が家では、育休中に限らず家事育児を私が担当する場面が多いのですが、職場全体の理解のおかげでストレスを抱えることなく仕事と両立できています。家事育児の大変さは、まるごと請け負って初めてわかるもの。妻の苦労を肌で感じ、共有することで、夫婦で支え合う気持ちが強くなったと感じています。

メディアコミュニケーション企画室　係長
菊池 勇介

SDGs全社教育を開催

今期10月1日より本格始動した望月印刷のSDGs。全従業員への理解と浸透のために、全社教育を計画。12月9日（水）と11日（金）に第1回目を開催しました。SDGsのゴールと当社のゴールがどういった関係にあるかを学習し、自社分析をするホームワークを全従業員に実施。その結果を第2回目で解説していきます。2回目は1月下旬を予定。

つくる、つなぐ、かなえる“グッドスマイルメディア”
望月印刷株式会社

〒338-0007　さいたま市中央区円阿弥5-8-36
TEL.048-840-2111　FAX.048-840-2121
https://www.avenue.co.jp/
EPC-JAPAN加盟 Excellent Printing Community of Japan

望月印刷SDGs広報誌「NEXT」2020-1号 発行／望月印刷株式会社 SDGs推進委員会